

《実践目標及び報告》

1) 地域との共生

※社会貢献

令和3年度においてもコロナ禍の影響による事業縮小は避けられませんでした。コロナ禍による家庭での養育に行き詰まるご家庭も多く見受けられ、リフレッシュ事業のニーズは高く、できる限りのリフレッシュ希望のご家庭（延べ件数45件）の支援をさせていただきました。

2) 人権の尊重

※子ども支援

新園舎での生活も2年目を迎えて新体制でコーナー編成をしましたが、子どもとの関係性からひずみ生まれ、職員のフォローがうまくいかず、年度初めの6月に3名の職員が退職されるという異例の結果となりました。その後、職員編成を組みなおし、子どもたちも少しずつ成長し、落ち着いた生活を送れるようになりました。大人たちが子どもたちの成長を願い、信じる姿勢をこれからも継続してまいります。

3) 人材育成

※社会的、家庭的養護推進に向けて職員の資質向上を目指す

縦割りユニットでの生活も少しずつ安定してきましたが、日常生活における困りごとは多々発生しています。経験豊かな職員の意見を聞いたり相談しあえる関係性も深まってきました。また、研修スタイルも対面・オンラインなど多様化し、受けたい研修も身近に受講することも出来て資質向上に繋がっていると感じます。今後も知恵を駆使して資質向上を目指します。

4) サービスの質の向上

※「ようこそ」「さきに」「ありがとう」の実践

どんな現象も受け入れる心の実践、先に挨拶することの実践、物事の見方を変えてみることで、小さなことでも感謝の思いを持ち、“喜び上手”になるという意識付けをしてまいります。

令和3年度 目標及び報告

同朋学園

法人の基本方針	項目	目標 (P)	実践 (D)	気付き・反省・満足度 (C)	次への期待 (A)
地域との共生	社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域清掃の実践</li> <li>・地域活動への参加</li> <li>・地域支援</li> </ul>	≪地域清掃≫ ・月1回、児童と職員での地域清掃 ・年11回、職員のみでの地域清掃 ≪地域活動≫・・・活動はすべて中止 ≪地域支援≫ ・リフレッシュ事業 ・一時保護の受け入れ実施	・コロナ禍で実施出来ないことが多かったが、コロナ禍の影響で煮詰まる家庭も多く、リフレッシュ事業で地域家庭支援を心がけた。	・人のお役に立つことの嬉しい人となり、社会に必要とされる私たちであるという自覚を持つ。
人権の尊重	子ども支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームやユニットでの生活で家庭体験を増やす</li> <li>・子どもが主体的に運営する行事 (運動会など)</li> <li>・子ども対象の研修会 (サイバー講習・性 (生) 教育)</li> <li>・学習支援 (学習塾の活用、図書コーナーの充実)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの行事が未実施に終わり、残念であったが、子どものお手伝いは増えた</li> <li>・性教育を少人数で実施 (6/19・7/20・7/22)</li> <li>・DVDによる性教育を少人数で実施 (3月に3回)</li> <li>・小学生対象の学習支援</li> <li>・プログラミング教室の実施 (5回)</li> </ul>	・児童対象の研修を今後も取り入れていくことで共通理解を深めることに通じる。	・性 (生) 教育は色々な事情を抱えた子ども達にとって自分のルーツを考える重要な機会であるので今後も続けていきたい。
人材育成	社会的、家庭的、家庭的養育推進に資する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利擁護チェックリスト (全養協) による自己点検</li> <li>・ケースカンファレンス (年11回)</li> <li>・講習会、研修会の実施 (障がい児研修・性 (生) 教育等)</li> <li>・調理作業の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリストによる自己点検 (7月・3月)</li> <li>・園内研修                          心理研修 (4/20、春海淳子氏)                          性 (生) 教育 (5回 足立泰代氏)                          性教育オンライン研修 (3/5)                          感染症研修 (4/21 藤川直貴氏)                          ケース検討研修 (4/28 津田克己氏)                          情報共有会議 (7/14、10/28 中本雅子氏)                          アナログ研修 (7/1 岡橋由香里氏)</li> <li>・ケースカンファレンス (7回)</li> </ul>	・性 (生) 教育をオンラインやDVDでも実践したことは良かったと思う。特に少人数によるDVDでの研修は今後も続けていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども理解は大人理解にも通じる。</li> <li>・職員の相互理解。</li> </ul>
	「ようこそ」「ありがとう」「さきに」の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ようこそ」 →学園に来られた方すべてに“ようこそ”の思いを持って接する</li> <li>・「さきに」 →日常のあいさつは自分から“さきに”行う</li> <li>・「ありがとう」 →どんなことから学びがあることを知り、“ありがとう”の思いを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れる心の実践。</li> <li>・先に挨拶することの実践。</li> <li>・物事の見方を変えてみることの意識付け。</li> <li>・小さなことでも感謝の思いを持つことの意識付け。</li> </ul>	・自分の価値観で物事を見てしまうこともあり、人の良いところを見つけられる意識を持つことが大切。	・相手とのチャンネル合わせが出来て、認め合える雰囲気づくり。

2

令和3年度 実践報告

同朋学園

	目標 (P)	計画・実践 (D)	子どもの声	気付き・反省・満足度・次への期待 (C/A)
北町ホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守る</li> <li>・生活リズム、時間を守る</li> <li>・自分の気持ちを人に伝える</li> <li>・自分の言葉、行動に責任を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北町会議等でルールの周知を行った</li> <li>・子どもと一緒に遊んだり、出かけたり多くの楽しい時間を共有できた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の特性などからなかなかルールを守ることができない児童に対する不満の声もあったが、職員の声掛けで落ち着く姿勢も見られた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守ることがなかなか難しい児童に対し、どのように伝え、どのような支援ができるか、また必要かを考えた自立支援が必要と感じている</li> </ul>
中町ホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話しやすい関係性を築き、自己選択できるように導く</li> <li>・子ども同士が互いに尊重しあい、共にわかりあえるよう意見を出し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢差もあり、全体でホーム会議を行うことより少数で集まり、個別対応することを心掛けた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度、気になったことを話せている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別対応が必要でストレス耐性の低い児童が多いのでその都度話ができる環境を整えることが重要と感じている</li> </ul>
みつばホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも大人も挨拶をしてコミュニケーション力を高める</li> <li>・自分の気持ちを言葉で表現する</li> <li>・人の話をきちんと聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕、食事前後の挨拶は促すより行動で示した</li> <li>・子どもの意見を尊重し、日常会話を大切に話して話しやすい雰囲気作りを心がけ、受容、傾聴、共感を意識した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝起きの挨拶はしんどいことが定着してきている</li> <li>・リビングで他児や職員とコミュニケーションをとる機会が増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンディションや年齢的に挨拶や問いかけに返事がないことも多いが毎日同じテンションで声をかけ続けることで挨拶やコミュニケーションスキルが向上していると感じる</li> <li>・個別の関わりを大切に、声をあげられない児童のこころの声もしっかり吸い上げようとした</li> </ul>
さくらホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ありがとう」「ごめんね」をしっかり伝えあう</li> <li>・自分の気持ちを言葉で表現する</li> <li>・毎日挨拶し、コミュニケーションをとり、話しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員から積極的に「ありがとう」「ごめんね」の言葉を伝えた</li> <li>・一人ひとりの子どもに寄り添い、話を聞いた</li> <li>・子どもの表情をしっかり見て職員同士情報共有した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーナー全員でお出かけしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを言葉で表現できるようになってきている子どもが増えた</li> <li>・子どもと個別な時間を取り、一人一人の話を聞くことで落ち着いた生活につながった</li> </ul>
あおばコーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムを整える</li> <li>・自分の思いを言葉にできる</li> <li>・自分も他人も大切にできる</li> <li>・自分でできることは自分でする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月間の予定をホワイトボードに書き、見通しが持てるようにした</li> <li>・個別の時間をとるようにし、思いを表現しやすい場を作った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やるべきこともやり、言いたいことを言えるようになってきた</li> <li>・そばにしんどい子がいると職員に伝えたり、人に頼ることも覚えたりして、自分や相手を大切にできるようになってきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定を目視できるようにしたり、個別の時間を作ったりしたことで安心した生活につながった</li> <li>・整理整頓が苦手な子どもが多いので具体的に指示したり、自分で片づけやすい環境づくりを心掛けたい</li> </ul>
つくしコーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的なあたたかい雰囲気を心掛ける</li> <li>・子どもたちとの時間を大切に、共に成長し信頼関係を築く</li> <li>・生活リズムを身につける</li> <li>・友だちといっしょに遊ぶことの楽しさを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の関わりを丁寧にし、笑顔で接する関係づくりを心掛けた</li> <li>・生活リズムを崩さないように心がけた</li> <li>・できていることはしっかりほめ、子ども達の自信につなげた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝いをたくさんしてくれた</li> <li>・お出かけをしたり、外遊びがしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちとの時間をたくさんとり、対一の時間を作るようにしたい</li> <li>・年上の子どもが下の子どもの面倒を見てくれることが増えた</li> <li>・日常生活の日課が身につき、できていない子どもがいたときには子ども同士で声掛け、意識した行動ができるようになった</li> </ul>

	目標 (P)	計画・実践 (D)	子どもの声	気付き・反省・満足度・次への期待 (C/A)
食堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童を対象に調理指導を行い、自立につなげる</li> <li>・適正な温度で食事提供できるようにする</li> <li>・ホームでの調理、衛生面について指導する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立後の食生活に役立つメニューや調理指導する機会を設けたかったがコロナのためできなかったが、ホームを見回り、情報交換はできた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵方巻などの行事食を喜んで食べてくれていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習はコロナのため、行うことが出来ず、残念であったが子どもたちが喜んでくれる食事を提供したい（ピザや寿司など）</li> <li>・コーナーで調理も行うので衛生面のチェックをしっかり行い、積極的に食事のアンケートを行って献立に活かしていきたい</li> </ul>
事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい挨拶と笑顔</li> <li>・役割分担と情報の共有化</li> <li>・思いやりと思いやりを感じる心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりを持った事務作業を意識した</li> <li>・役割分担を確認しながら作業を行った</li> <li>・整理整頓を心がけた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練費をもらうときやたまに覗いてくれるときにはきちんとした挨拶ができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>礼儀作法を守って職員や子どもたちが入りやすい事務所を心掛け、今後もコミュニケーションを積み重ねていきたい</li> </ul>